

新発田市租税教育推進協議会長賞

消費税について

新発田市立 川東中学校 三年 松田 愛央 さん

私は税についてずっと疑問を抱いていました。例えば、コンビニで一三〇円のおにぎりを買ったら一四三円になっていたことです。そこで初めて、消費税という存在を知りました。他にもフードコートでの食事や、お店の所有するベンチなどの飲食スペースでの食事は消費税が一〇%で、持ち帰りの容器に入れて食料品を持って帰るテイクアウトは、八%の消費税という違いがややこしいなと思いました。そこでもっと消費税について知りたいと思い調べてみました。

消費税とは、物品やサービスの「消費」に着目し課税する間接税です。医療や福祉、教育などの限定された一部のものを除き、国内で行われるほぼ全ての物品の販売やサービスの提供等を課税の対象にしています。取引に対して一〇%または八%の税率で課税されます。卸売業や販売店では、一般的にメーカーなど他の事業者が作ったものを購入し、販売します。この販売するために他の事業者から購入することを「仕入れ」と言います。「仕入れ」は「消費」と同じように購入する行為ではあるものの、その目的は消費することではなく仕入れたものを販売することです。つまり「仕入れ」と「消費」は異なる経済活動と言えます。消費税はその名の通り「消費」に対して課税されるべきであり、消費とは目的の異なる「仕入れ」に課税されるべきではありません。こういった理由から、消費税の課税制度は、生産や流通の各段階での仕入れに対して二重、三重に税が課されることのないよう、売り上げに対する消費税額から仕入れに対する消費税額を控除し、税が累積しない仕組みとなっています。

調べてみて分かったことは、仕入れと消費は似たような行為だが意味が全く違うということです。私は、どちらも買うという意味が一緒だと思っていたけれど、買うという行為が一緒なだけで意味が全く違うことに気づきました。

以前の私は、消費税まで払うのはあまりいい気分ではなかったのですが消費税の使い道を調べると、年金・医療・介護・子育てなどの社会保障に使われていることを知って、あらゆる面で日本を支えていることが分かりました。消費税の他にも大人になって自立したら、所得税や自動車税、固定資産税などいろいろな税を払っていかねばならないので頑張っておきたいと思いました。

そして学校の校舎や教科書の費用も税金が使われているので全国民の方々に感謝して大切にしていきたいと思いました。